

歴史と自然、

にぎわいのまち中野

寺院

1 福蔵院(白鷺1-31-5)

白鷺山正權寺と号し、開山は文龜・永正の頃(1501~1520)頼珍和尚による。鷺宮八幡宮の別当で、日上・下宮宮村の人々の菩提寺として結び付きが深かった。寛文6年(1666)大日如来を最古とする十三仏石像がある。13体揃っている十三仏の石像は都内でも珍しい。

2 山蔵院(若宮3-21-4)

琉璃光山浄光寺と号し、本尊は薬師如来。寺伝によると開山は寛文2年頃、権大僧都法印朝運といふ。無住であったり、寺名を定林庵と呼び禅宗の尼僧が住し、土地の人々に「下町の尼寺」とよばれた時期があった。

3 浄円寺(若宮3-22-1)

浄円寺(若宮3-22-1)



47 筆塚(寶福寺)

4 蓮華寺(大和町4-37-15)

5 満願寺(大和町1-59-12)

6 清谷寺(沼袋3-21-7)

幕末まで沼袋の氷川神社と大和町の八幡神社の別当をつとめた。また明治期には野方村役場が置かれており、旧村の中核にあった。境内には応永6年(1399)の十三仏種子板碑が建てられている。この板碑は形式や梵字の配列が珍しくかつ貴重といわれる。

7 実相院(沼袋4-1-1)

如意山世尊寺と号し、本尊は十一面観世音。寺伝では、正平7年(1352)足利氏との戦いに敗れた、新田一族であった矢島内匠、矢島國重等が、この地に逃れて定住帰農し、寺を開いたといわれる。矢島一族の氏寺で、「矢島寺」とも呼ばれている。

36 善成寺(中野3-39-10)

37 徳蔵寺(中央4-14-9)

38 慈眼寺(中央3-33-3)

39 正行寺(中央3-47-4)

40 常昌院(中央2-53-1)

41 宝仙寺(中央2-33-3)

真言宗豊山派の寺院で開山寛治年間(1087~94)源義家。永享元年(1429)阿佐ヶ谷から現在地に移建した。2月3日節分追儺会の際、僧行列が行われる。惣江家の墓所、数学者の小川秀憲、文学者の福井学園の墓所がある。

8 禅定院(沼袋2-28-2)

琉璃光山薬王寺と号し、本尊は不動明王。寺の記録では、貞治元年(1362)惠尊によって開かれたと伝えられる。旧上沼袋村の旧家伊藤氏の菩提寺で「伊藤寺」とも呼ばれた。境内にはイチョウの大樹があり、また牡丹の寺として知られる。

9 明治寺(沼袋2-28-20)

10 密蔵院(沼袋2-33-4)

11 久成寺(沼袋2-28-30)

12 貞源寺(沼袋2-19-28)

13 正法寺(沼袋2-19-26)

14 東福寺(江古田3-9-15)

創建は鎌倉時代、本尊は弘法大師の作と伝えられる不動明王。江戸時代、徳川3代将軍家光が鷹狩の際訪れ、8代将軍吉宗の時、御膳所に指定された。「お成りの間」が昭和42年に本堂が改築されるまで残されていた。承応4年本堂完成記念樹のイチョウの木が現存する。

15 蓮華寺(江古田1-6-4)

旧江古田村名主深野孫右衛門が、大岡越前守が寺社奉行の時、特に許されて元文6年(1741)に名前だけ残っていた寺を継いだ形で建てた寺。東洋大学、哲学堂創設者・井上田の墓や明治2年(1869)に許可された「時の鐘」がある。

16 了然寺(松が丘2-2-2)



1 福蔵院

17 梅照院(新井薬師)(新井5-3-5)

子育て薬師、治眼薬師として江戸時代より参詣人でにぎわい、門前町も形成された。本尊は薬師如来と六臂の如意輪観音を背中合わせに塑造した室町時代の極めて珍しい作品で元米御正体(懸仏)として制作されたものと推測される。

18 東光寺(上高田5-21-5)

真言宗豊山派の寺院で、日照山阿弥陀院と号し、本尊は薬師三尊立像。墓地中央部に元禄3年刻銘の施主14人による弥勒半伽藍が建てられており、江戸時代初期に旧上高田村の人々の菩提寺として開かれたことが推察される。

19 光徳院(上高田5-18-3)

20 萬昌院功進寺(上高田4-14-1)

21 宝泉寺(上高田4-13-1)

22 金剛寺(上高田4-9-8)

23 境妙寺(上高田4-9-3)

24 神足寺(上高田4-11-1)

25 順正寺(上高田4-10-1)

26 天徳寺(上高田1-31-4)

27 保善寺(上高田1-31-2)

28 宗清寺(上高田1-27-6)

29 松源寺(上高田1-27-3)

30 龍興寺(上高田1-2-12)

31 高德寺(上高田1-2-9)

32 源通寺(上高田1-2-7)

33 青原寺(上高田1-2-3)

34 正見寺(上高田1-1-10)

35 龍昌寺(中野6-3-7)

43 成願寺(本町2-26-6)

曹洞宗正流の寺院で、この地を開墾して中野長者と呼ばれた鈴木九郎の開基。鎌倉後期の本尊釈迦如来像や室町時代の川庵宗廟像などが伝わる。中野在来寺院唯一の大名墓地、肥前蓮池藩藩主鍋島家代々の墓所がある。

44 靈妙寺(本町2-6-9)

45 福寿院(本町3-12-9)

真言宗豊山派の寺院で、開山年は元応元年(1319)と伝えられる。本尊の薬師如来像は弘法大師の作といわれ、2体彫られたうちの1体で、もう1体は新井薬師の本尊にしたといわれている。境内には井之頭の弁財天の娘と伝えられる弁財天がある。

46 正蔵院(弥生町4-12-1)

天文元年(1532)開基の真言宗豊山派の寺院。三河西尾藩士で、維新後に三河国の大参事となった川住行教とその子鏡三郎の墓がある。鏡三郎は先祖と伝えられる中野長者伝説を研究した。享保10年(1725)に建てられた六地藏は川島地蔵として知られている。

47 寶福寺(南台3-43-2)

真言宗豊山派の寺院で、中野観音として古くから知られ、室町時代に造られた聖徳太子孝養の像が祀られている。明治3年(1870)に寺子屋「戸村塾」を開いた戸村直衛が、師弟の使用した毛筆を納めて供養し、学業上達を願って建てた筆塚がある。